

授業科目名： 初等教科教育法（体育）	教員の免許状取得のため の 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名：住本 純 <small>すみもと あつし</small>
実務内容 （実務家教員の場合）	「初等教科教育法（体育）」小学校教諭としての勤務経験を持つ教員が、体育科における指導計画の作成、学習指導案の作成について指導する。		
科目	教科及び教科の指導法に関する科目（小学校）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	各教科の指導（情報通信技術の活用を含む。）「体育」		
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。</p> <p>A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。</p> <p>B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。</p> <p>C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。</p> <p>D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。</p> <p>E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。</p> <p>F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。</p>			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>（1）小学校における体育科指導の概要を理解する。</p> <p>（2）各領域の概要と指導法を学び、基礎的指導技術を身につける。</p> <p>（3）体育科の教材研究、学習指導、学習評価の特徴や方法を理解する。</p> <p>（4）学習指導案の作成ができる。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>体育科の学習観の変遷を踏まえ、小学校学習指導要領に示された内容と指導方法を学修と実技から総合的に学ぶ。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：体育科の学習観とその変遷</p> <p>第2回：学習指導要領改訂の趣旨</p> <p>第3回：体育科における目標、内容構成</p> <p>第4回：体育科における教材研究、情報機器の活用、学習指導及び学習評価の特徴と方法</p> <p>第5回：「体づくりの運動遊び」「体づくり運動」の概要と指導法の研究</p>			

第6回：「器械・器具を使つての運動遊び」「器械運動」の概要と指導法の研究  
第7回：「走・跳の運動遊び」「走・跳の運動」「陸上運動」の概要と指導法の研究  
第8回：「ゲーム」「ボール運動」の概要と指導法の研究  
第9回：「水遊び」「水泳運動」の概要と指導法の研究  
第10回：「表現リズム遊び」「表現運動」の概要と指導法の研究  
第11回：「保健」の概要と指導法の研究  
第12回：学習指導案の構成と作成  
第13回：模擬授業①体づくり運動・器械運動から  
第14回：模擬授業②陸上運動・ボール運動から  
第15回：体育科授業づくりに関するワークショップ（情報通信技術及び教材の効果的な活用を含む）  
定期試験

スクーリングでの学修内容

\*スクーリングでは、第12回～第15回の内容を含む。

\*アクティブラーニングの手法も用いて実施

教科書

文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 体育編』東洋館出版社

参考文献

（1）岡出美則 友添秀則 岩田靖 編著『体育科教育学入門 三訂版』大修館書店

（2）岡出美則 編『初等体育科教育』ミネルヴァ書房

学生に対する評価

レポート評価（25%）、スクーリング評価（25%）、科目修得試験（50%）の割合で総合して評価する。